

がん切除用の処置具

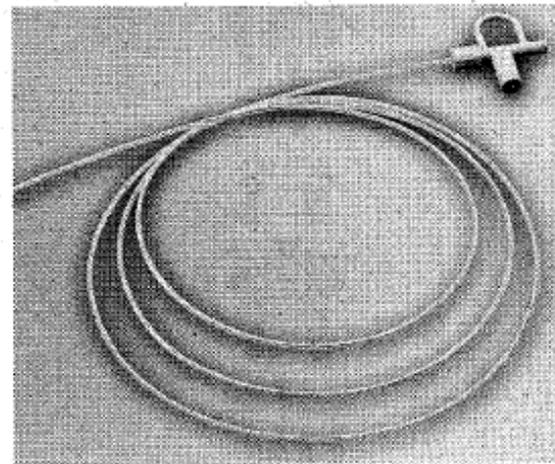
山科精器 コスト減で半額に

【大津】山科精器(滋賀県栗東市、大日陽一郎社長、077・558・1173)

は、内視鏡に取り付けてがんを切除する高周波処置具「ESD用ナイフ エンドセイバー」の「写真」を6月1日に発売する。消費税抜き価格は1万2000円と従来の半分程度にした。コスト競争力を

高め、需要拡大を狙う。初年度に1万本の販売を目指す。

胃がんや大腸がんなどの手術で、カメラを装入してがんを切除する内視鏡的粘膜下層はく離手術(ESD)に用



いる。市立四日市病院(三重県八日市)の小林真医師らのアドバンスを受けて開発。洗浄や吸引、色素散布、

マーキング、切開、はく離と一連の処置が1本でできる。

1・5ミリ、2・0ミリ、2・5ミリ以上の3種類。同社従来品の「エンド

生理食塩水のほかヒアルロン酸も送液できる。ナイフ部は長さ

が改良するなどでコストを下げた。